

子どもの糖尿病キャンプ ボランティア募集

広島「もみじの会」(1型糖尿病をもつ子どもとその家族の会)がこのキャンプを主催し、日本糖尿病協会などが支援しています。



毎年、4泊5日のプログラムで行っています。

広島「もみじの会」

主な内容は話そう会、糖尿病教室、栄養教室、野外炊飯、キャンプファイヤー、海水浴、登山、ものづくりなどです。

今回は2024年8月14日～18日に福山少年自然の家で行います。

日本では1型糖尿病は子ども1万人に2人程度でまれな病気です。そのため、同じ病気の人と出会うことは少なく、ましてや学校に同じ病気の子どものいないことが多く、学校の友達や先生もこの病気をほとんど知らないため、周囲の無理解や孤立に悩むこともあります。

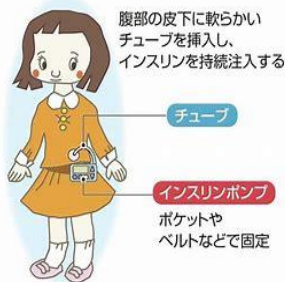
キャンプには自分と同じように毎日血糖値確認や注射をしている友達や先輩・後輩が参加しているため、孤立感などは薄れ、同じ悩みや苦勞などを共感できる場になっています。

このような場でできた友達は成長していく過程でお互いを支えあっていくと病気のコントロールにも好影響を与えることが予想されます。



広島「もみじの会」
サマーキャンプ

インスリンポンプの使い方



糖尿病をもつ子どもたちの友達づくりのサポートをいっしょにしませんか

*5月11日からキャンプ前日まで毎週土曜14時から準備の集まりを大学病院内のたんぼぼ保育園2階のカンファレンスルームなどで行います。

準備会に半分以上参加でき、8/14～18日に全日参加できる方を希望します。

*お問い合わせ(参加希望)の方はGoogle formに記載してください。
広島大学病院小児科 武内より連絡いたします。



Google form